

4. 書面調査の結果

第 4.1 節に取り組み状況の一覧を、第 4.2 節に施設ごとの調査結果を示す。

4.1. 取り組み状況の一覧

医療安全に関する取り組みの具体例をあげ、各調査対象の取り組み状況を一覧に整理した。

なお、ここで挙げる取り組み状況は、書面調査の中で各施設から「取り組んでいる」との情報を得たものに限るものである。(したがって、書面調査への回答はなかったが取り組んでいる場合もありうる。) また、取り組んでいるとの回答があってもコストが不詳の場合には、表中に○を付けているが、後掲のコストには計上されていない。

(1) 病院 (300 床未満) の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	病院 (300 床未満)					
		A	B	C	D	E	F
1 委員会・会合	安全管理委員会	○	○	○	○	○	○
	感染制御委員会	○	○	○	○	○	○
	事故調査委員会	—	○	○	○	—	—
	薬事委員会	○	○	○	○	○	○
	その他の委員会	○	○	○	○	○	—
2 内部レビュー	院内視察・査察	—	—	—	—	○	○
	マニュアル遵守	○	○	○	○	—	—
	診療録レビュー	—	—	—	○	—	—
	各種検討会 (化学療法、輸血、抗生剤)	○	○	○	○	—	—
3 院内研修	安全管理研修	—	○	○	○	○	○
	感染制御研修	—	○	○	○	○	○
	救急救命研修	—	○	—	○	○	—
	新人看護職研修	—	○	—	○	—	—
4 院外研修	安全管理研修	○	○	○	○	○	○
	感染制御研修	○	○	○	○	○	○
	救命・除細動機講習	—	○	—	○	—	—
5 安全管理機器・設備	リストバンド	○	○	—	○	○	○
	転倒防止器具	○	○	○	—	○	○
	警報装置	—	○	○	—	—	○
	看護支援携帯端末	—	○	○	—	—	—
	オートゲートリシステム	—	○	—	○	—	—
	AED	—	○	—	—	—	—
6 感染制御機器・設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○	○	○
	グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○	○	○
	抗菌カテーテル	○	—	○	—	—	—
	針刺防止器具	○	○	—	—	—	○
	オートクレーブ	○	○	○	○	○	—
	空気洗浄器	—	—	○	—	○	—
	手洗い機器	○	○	○	○	○	—
	陰圧隔離室	—	—	—	—	—	—

調査項目	取り組み内容	病院（300床未満）						
		A	B	C	D	E	F	
7	医療機器の管理	臨床工学技師配置	—	○	—	○	—	
		ME 機器定期点検	—	○	—	○	○	○
8	医薬品の管理	薬剤師の服薬指導	○	○	○	○	○	○
		薬剤師の注射剤調製	—	○	—	○	○	—
		クリーンベンチ・安全キャビネット	—	—	—	○	—	—
		冷蔵保管庫	○	○	○	○	○	○
		自動分包機	○	○	—	○	○	○
		医薬品管理システム	—	—	○	—	—	—
9	廃棄物処理	感染性器具廃棄容器	○	○	○	—	—	○
		感染性廃棄物保管庫	○	—	○	○	○	—
		感染性廃棄物処理施設	—	—	—	—	—	—
		感染性廃棄物処理委託	○	○	—	○	○	○
		産業廃棄物保管庫	○	○	○	○	○	○
		産業廃棄物処理委託	○	○	○	○	○	○
10	インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	○	○	○	○	○	○
		アクシデントレポート	○	○	○	○	○	—
		分析・改善立案	○	○	○	○	○	○
11	マニュアル	感染制御マニュアル	○	○	○	○	○	○
		事故防止マニュアル	○	○	○	○	○	○
12	外部評価	病院機能評価	○	○	○	○	○	○
		ISO9001	—	—	—	—	—	—
13	院内感染サーベイランス	MRSA	—	○	—	○	—	○
		疥癬	—	○	—		—	—
		術後感染	○	—	—		—	○
		手術スタッフ手指細菌検査	—	—	—	○	—	—
		手洗滅菌水細菌検査	—	—	—	○	—	—
		手術台細菌培養	○	—	—	—	—	—
		人工呼吸器関連肺炎	—	—	—	—	—	—
		手洗い評価	—	—	○	—	—	—
14	職業感染防止	抗体検査	○	○	○	○	○	○
		インフルエンザワクチン	○	○	○	○	○	○
15	賠償責任保険	病院が被保険者	○	○	○	○	○	○
		従業員が被保険者	○	—	○	○	—	—
16	安全管理人員配置	専任リスクマネージャー	—	○	—	—	—	—
		兼任リスクマネージャー	—	○	—	○	—	○
		施設管理者が兼任	○	—	○	—	○	—
17	感染制御人員配置	感染担当マネージャー	—	○	—	—	—	—
		リンクナース	—	—	—	—	—	—
		施設管理者が兼任	○	—	○	○	○	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

(2) 一般診療所（有床）の取り組み状況

調査項目		取り組み内容	一般診療所（有床）			
			A	B	C	D
1	委員会・会 合・院内研修	安全管理委員会	○	○	○	○
		感染防止対策委員会	○	○	○	○
		新人看護師の研修	○	○	○	—
		初任時研修・オリエンテーション	○	○	○	—
		内部レビュー・ラウンド	○	—	—	—
2	院外研修	安全管理研修	—	○	—	○
		感染制御研修	—	○	—	—
		その他の研修	—	○	—	—
3	安全管理機 器・設備	看護支援端末	○	—	—	—
		警報装置	○	○	○	—
		転落防止器具	○	—	—	—
		衝撃吸収材	○	—	—	—
		テレビ監視装置	○	—	—	—
		手術用モニター	○	—	—	—
		手すり	—	○	—	—
4	感染制御機 器・設備	消毒・洗剤	○	○	○	○
		グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○
		抗菌カテーテル	○	—	○	○
		抗菌床材	○	—	○	—
		陰圧隔離室	—	—	—	—
		オートクレーブ	○	○	○	—
空気清浄機	—	○	—	—		
5	医療機器、医薬 品等の管理等	X線機器検査	—	○	—	—
		医薬品の管理・保守	○	○	—	—
6	廃棄物処理	廃棄物保管庫	—	○	—	—
		感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○
		非感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○
7	インシデント・ アクシデントレ ポート	インシデントレポート	○	○	○	○
		アクシデントレポート	○	—	○	—
		分析・改善立案	○	○	○	○
8	マニュアル	感染・消毒マニュアル	—	○	—	○
		事故防止マニュアル	—	○	—	○
		その他のマニュアル	○	—	—	—
9	外部評価	ISO9001	—	—	—	—
10	職業感染防止	抗体検査	—	○	○	○
		インフルエンザワクチン	○	○	○	—
		その他検査	—	○	—	—
11	賠償責任保険	医療機関が被保険者	○	○	○	○
		従業員が被保険者	—	—	○	—
12	安全管理 人員配置	安全管理責任者等の任命	—	○	—	○
		施設長が兼任	○	—	○	—

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

(3) 一般診療所（無床）の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	一般診療所（無床）					
		A	B	C	D	E	F
1 委員会・会 合・院内研修	安全管理委員会	-	-	-	-	-	-
	感染防止対策委員会	-	-	-	-	-	-
	新人看護師の研修	-	-	-	-	-	○
	その他の会合・院内研修	○	-	-	○	○	○
2 院外研修	安全管理研修	-	○	-	○	-	○
	感染制御研修	-	○	○	-	○	-
	その他の研修	-	○	-	○	○	○
3 安全管理機 器・設備	看護支援端末	-	-	-	-	-	-
	警報装置	-	-	-	-	-	○
	救急薬セット	-	-	○	-	-	-
	酸素ボンベと吸入マスク	-	-	○	-	-	-
4 感染制御機 器・設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○	○	○
	グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○	○	○
	オートクレーブ	○	○	○	○	○	○
	空気清浄機	-	○	-	○	○	○
	滅菌灯（白癬菌用）	-	○	-	-	-	○
	その他機器	-	○	○	-	○	-
5 医療機器、医薬 品等の管理等	X線機器検査	-	○	-	-	-	-
	医薬品の管理・保守	-	-	○	○	-	-
	麻酔カート	-	-	-	-	○	-
6 廃棄物処理	感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○	○	○
	非感染性廃棄物処理委託	○	○	-	○	-	○
7 インシデント・ アクシデントレ ポート	インシデントレポート	-	-	-	○	○	-
	アクシデントレポート	-	-	-	-	-	-
	分析・改善立案	-	-	-	○	○	-
8 マニュアル	感染・消毒マニュアル	-	-	-	○	○	-
	事故防止マニュアル	-	-	-	-	-	-
	その他のマニュアル	-	-	-	○	○	-
9 外部評価	ISO9001	-	-	-	-	○	-
10 職業感染防止	抗体検査	-	○	-	-	○	-
	インフルエンザワクチン	○	○	○	○	○	○
	その他検査	-	-	-	○	○	-
11 賠償責任保険	医療機関が被保険者	○	-	○	○	○	○
	従業員が被保険者	-	○	-	-	○	○
12 安全管理 人員配置	安全管理責任者等の任命	-	-	-	○	-	-
	施設長が兼任	○	○	○	-	○	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“-”は情報を得ていないことを示している。

(4) 歯科診療所の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	歯科診療所							
		A	B	C	D	E	F	G	
1	委員会・会合・院内研修	安全管理委員会	○	○	○	-	○	○	-
		感染防止対策委員会	○	○	○	○	○	○	-
		医療事故調査委員会	○	○	-	○	-	○	-
2	院外研修	安全管理研修	○	-	-	-	-	○	-
		感染制御研修	-	○	○	-	○	-	-
3	安全管理機器・設備	モニター(血圧・酸素飽和度)	○	○	-	-	-	○	○
		血圧計	○	○	○	○	○	○	○
		救急薬セット	○	○	○	○	○	○	○
		エアウェイ	○	○	○	○	○	○	○
		人工呼吸用バッグ・マスク	○	○	○	-	-	○	-
		酸素ボンベと吸入マスク	○	○	○	○	○	○	○
		AED	○	-	-	-	-	-	-
		粉塵バキューム	-	○	-	○	○	-	○
		浄水器	○	○	-	-	-	○	○
		心電計	○	-	-	-	-	○	-
4	感染制御機器・設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○	○	○	○
		グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○	○	○	○
		乾熱滅菌器	○	○	○	○	-	-	-
		その他滅菌器	○	○	○	○	○	○	○
		超音波洗浄器	-	○	○	○	○	○	○
		抗菌床材	-	-	-	○	-	-	-
5	医療機器、医薬品等の管理等	ユニット保守点検	-	○	-	-	○	○	○
		X線量測定	○	○	-	-	-	○	-
		医薬品の管理・保守	○	○	-	○	○	○	○
		薬品保冷庫(冷蔵庫除く)	○	-	-	-	-	○	-
		麻酔カート	○	-	-	-	-	-	-
6	廃棄物処理	廃棄物保管庫	○	○	-	-	-	○	○
		感染性廃棄物処理委託	○	-	○	○	○	○	○
		非感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○	○	○	○
7	インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	○	○	○	-	-	○	-
		アクシデントレポート	○	-	○	-	-	○	-
		分析・改善立案	○	○	○	-	-	○	-
8	マニュアル	感染・消毒マニュアル	○	-	○	○	○	○	-
		事故防止マニュアル	-	-	○	-	-	○	-
		診療マニュアル	○	○	-	-	-	○	-
		その他のマニュアル	-	○	-	-	○	○	-
9	外部評価	ISO9001	-	○	-	-	-	-	-
10	職業感染防止	抗体検査	○	○	○	○	○	○	○
		インフルエンザワクチン	○	○	-	○	-	○	○
11	賠償責任保険	医療機関が被保険者	○	○	○	○	○	○	○
		従業員が被保険者	-	-	-	○	-	○	-
12	安全管理人員配置	安全管理責任者等任命	○	○	-	-	-	○	-
		施設長が兼任	-	-	○	○	○	-	○

(5) 保険薬局の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	保険薬局										
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1	委員会・会合・打合せ	安全対策委員会	-	-	○	○	-	-	○	-	○	-
		製薬会社 MR を招いての研修会	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○
		その他の会合・打合せ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
2	研修	内部研修	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-
		外部研修・学会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	調剤業務における安全対策	鑑査機器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		薬歴管理システム	○	○	○	-	○	-	-	○	○	○
		その他の機器	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○
4	医薬品等の安全管理	規制医薬品のリスト化	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		規制医薬品の区分保管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		装置瓶、調剤棚への用法等の記載	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		薬剤の注意掲示	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		薬剤の注意扉等への確認	○	-	-	○	○	○	○	○	-	-
		医薬品の検収	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		受発注に用いる機器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	副作用防止	情報収集・管理体制整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		患者特定の仕組みの整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	感染制御および無菌製剤	使用済み注射針についての患者への広報	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
		感染性廃棄物分別保管	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○
		感染性廃棄物処理委託	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
		クリーンベンチ	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-
7	インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		アクシデントレポート	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-
		分析・改善立案	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
8	マニュアル	調剤業務マニュアル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		事故防止マニュアル	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-
		機器操作マニュアル	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
		その他のマニュアル	-	-	-	○	-	-	○	○	○	-
9	外部評価	ISO9001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	職業感染防止	抗体検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
		インフルエンザワクチン	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○
		その他検査	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
11	賠償責任保険	薬局が被保険者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		従業員が被保険者	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○
12	安全管理人員配置	安全管理責任者等の任命	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-
		施設長が兼任	○	○	-	-	○	○	○	○	-	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“-”は情報を得ていないことを示している。

4.2. 施設ごとの調査結果

【 病院 A： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

病床	許可病床	20～50 床	職員	医師	11～15 人	
	療養病床割合	0%		歯科医師	0 人	
患者	在院患者延べ数	約 1,100人		薬剤師	2 人	
	初診患者数	約 700人		看護職員	36～40 人	
	再診患者延べ数	約 5,300人		医療技術員	16～20 人	
院外処方率		100%		その他の職員	6～10 人	
医業収入(平成16年度1年間)		約 11.3億円				

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 術後感染率調査、手術・手洗台細菌培養検査等の院内感染サーベイランスを実施している。
- ・ 薬剤師を 2 人配置し、活動の 3 割程度を薬歴管理・服薬指導にあてている。
- ・ 2002 年度に医療機能評価機構の評価を受審している。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口、投書箱を設置している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的 投資	委員会・会合	990	3,450	.	3,450
	内部レビュー・ラウンド等	495	2,098	.	2,098
	院内研修	-	-	-	-
	院外研修・活動	192	670	94	764
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	34	34
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	4,496	4,496
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	20	544	564
	廃棄物処理・保管	.	.	2,597	2,597
その他	インシデント／アクシデントレポート	145	457	-	457
	院内感染サーベイランス	1	3	-	3
	職業感染防止対策	.	.	200	200
	賠償責任保険	.	.	675	675
合計		1,823	6,699	8,639	15,338
1病床当たり費用		.	137	176	313
職員1人当たり費用		.	84	108	192
医業収入割合		.	0.6%	0.8%	1.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	1,330	122	-	.	.
物件費	-	550	-	-	-	2,376
合計	-	1,880	122	-	-	2,376
医業収入割合	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%

【 病院 B： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

病床	許可病床	100～150 床
	療養病床割合	0%
患者	在院患者延べ数	約 3,400人
	初診患者数	約 440人
	再診患者延べ数	約 8,100人
院外処方率		100%
医業収入(平成16年度1年間)		約 26.2億円

職員	医師	11～15 人
	歯科医師	0 人
	薬剤師	6～10 人
	看護職員	91～100 人
	医療技術員	16～20 人
	その他の職員	71～80 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 安全管理担当者として専任のフロアマネジャー（看護職）を 1 人配置している。
- ・ 病棟に薬剤師を配置するなど、医薬品安全管理を重視していることが窺がえる。
- ・ 医療機器が多く、臨床工学技師を 3 人配置。ME 機器メンテナンス講習も年 9 回受講している。
- ・ マニュアルは診療部を含め、各部門別に計 13 種類が整備されている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的 投資	委員会・会合	1,306	5,365	.	5,365
	内部レビュー・ラウンド等	1,796	6,827	.	6,827
	院内研修	2,843	8,209	96	8,305
	院外研修・活動	464	1,906	770	2,676
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	5,486	5,486
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	23,757	23,757
	医療機器等の管理等	.	2,738	-	2,738
	医薬品等の管理等	.	80	664	744
	廃棄物処理・保管	.	.	9,016	9,016
その他	インシデント/アクシデントレポート	1,085	3,487	-	3,487
	院内感染サーベイランス	5	16	-	16
	職業感染防止対策	.	.	879	879
	賠償責任保険	.	.	3,913	3,913
合計		7,498	28,627	44,581	73,209
1病床当たり費用		.	202	314	516
職員1人当たり費用		.	136	212	348
医業収入割合		.	1.1%	1.7%	2.8%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	12,035	23,205	7,662	1,964	.	.
物件費	1,260	1,500	7,763	1,955	-	10,586
合計	13,295	24,705	15,425	3,919	-	10,586
医業収入割合	0.5%	0.9%	0.6%	0.1%	0.0%	0.4%

【 病院 C： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

病床	許可病床	50～100 床
	療養病床割合	51%
患者	在院患者延べ数	約 2,700人
	初診患者数	約 250人
	再診患者延べ数	約 4,100人
	院外処方率	100%
医業収入(平成16年度1年間)		約 11.2億円

職員	医師	6～10 人
	歯科医師	0 人
	薬剤師	3 人
	看護職員	41～45 人
	医療技術員	6～10 人
	その他の職員	31～35 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 各部門の責任者が安全管理、感染制御部の担当として位置づけられている。
- ・ 薬剤師を 3 人配置、薬歴管理・服薬指導を実施している。調剤は内服薬の一回量調剤を実施。
- ・ 感染制御サーベイランスとしては手洗い評価を実施。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口を設置している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合	541	2,145	.	2,145
	内部レビュー・ラウンド等	79	263	.	263
	院内研修	322	1,040	25	1,065
	院外研修・活動	357	1,136	962	2,098
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	708	708
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	3,894	3,894
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	11	167	178
	廃棄物処理・保管	.	.	2,623	2,623
その他	インシデント/アクシデントレポート	104	334	-	334
	院内感染サーベイランス	6	19	10	29
	職業感染防止対策	.	.	87	87
	賠償責任保険	.	.	1,476	1,476
合計		1,408	4,948	9,951	14,899
1病床当たり費用		.	50	102	152
職員1人当たり費用		.	51	103	154
医業収入割合		.	0.4%	0.9%	1.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	1,552	984	72	.	.
物件費	-	1,960	85	20	-	-
合計	-	3,512	1,069	92	-	-
医業収入割合	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【 病院 D： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

病床	許可病床	100～150 床
	療養病床割合	38%
患者	在院患者延べ数	約 2,900人
	初診患者数	約 300人
	再診患者延べ数	約 6,900人
院外処方率		4%
医業収入(平成16年度1年間)		約 21.3億円

職員	医師	11～15 人
	歯科医師	1 人
	薬剤師	4 人
	看護職員	101～120 人
	医療技術員	21～25 人
	その他の職員	46～50 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 兼任のリスクマネージャーを任命。
- ・ オーダリングシステムを導入、電子カルテを準備中。
- ・ 薬剤師が抗がん剤の調剤を実施。バイオハザードキャビネット、クリーンベンチを導入。
- ・ 臨床工学技師を 3 人配置。機器管理をするほか、各種撮影装置の点検を年 3 回ずつ実施。
- ・ 2004 年のインシデントレポートの分析・改善立案は月 1 回実施されている。
- ・ 賠償責任保険は病院、医師、薬剤師を被保険者としたもの。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的 投資	委員会・会合	692	2,521	.	2,521
	内部レビュー・ラウンド等	384	1,485	.	1,485
	院内研修	72	217	60	277
	院外研修・活動	540	1,936	1,257	3,193
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	4,415	4,415
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	8,860	8,860
	医療機器等の管理等	.	1,076	9,171	10,247
	医薬品等の管理等	.	3	3,920	3,923
	廃棄物処理・保管	.	.	5,605	5,605
その他	インシデント/アクシデントレポート	72	237	1	237
	院内感染サーベイランス	2	8	2	10
	職業感染防止対策	.	.	354	354
	賠償責任保険	.	.	1,599	1,599
合計		1,761	7,483	35,245	42,728
1病床当たり費用		.	57	269	326
職員1人当たり費用		.	38	177	215
医業収入割合		.	0.4%	1.8%	2.1%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	740	582	.	.
物件費	-	5,543	50	-	109,572	6,902
合計	-	5,543	790	582	109,572	6,902
医業収入割合	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	5.5%	0.3%

【 病院 E： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

病床	許可病床	50～100 床
	療養病床割合	57%
患者	在院患者延べ数	約 1,700人
	初診患者数	約 520人
	再診患者延べ数	約 600人
院外処方率		99%
医業収入(平成16年度1年間)		約 6.5億円

職員	医師	5 人
	歯科医師	0 人
	薬剤師	2 人
	看護職員	36～40 人
	医療技術員	6～10 人
	その他の職員	11～15 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬剤師を 2 人配置し、活動の 4 割程度を薬歴管理・服薬指導にあてている。
- ・ 薬剤師が注射剤の一部の混注を行っている。
- ・ 月に一度、全部署全薬剤の保管管理状況のチェックを実施している。
- ・ 2004 年のインシデントレポートの分析・改善立案は月 1 回実施されている。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口を設置している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合	292	1,124	.	1,124
	内部レビュー・ラウンド等	-	-	.	-
	院内研修	444	1,188	37	1,225
	院外研修・活動	120	348	158	506
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	211	211
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	2,766	2,766
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	140	273	413
	廃棄物処理・保管	.	.	326	326
その他	インシデント/アクシデントレポート	490	1,702	-	1,702
	院内感染サーベイランス	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	229	229
	賠償責任保険	.	.	771	771
合計		1,346	4,503	4,772	9,275
1病床当たり費用		.	75	80	155
職員1人当たり費用		.	66	70	136
医業収入割合		.	0.7%	0.7%	1.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	45,771	-	1,918	680	.	.
物件費	1,600	-	60	-	500	-
合計	47,371	-	1,978	680	500	-
医業収入割合	7.3%	0.0%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%

【 病院 F： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

病床	許可病床	50～100 床
	療養病床割合	42%
患者	在院患者延べ数	約 2,200 人
	初診患者数	約 600 人
	再診患者延べ数	約 3,500 人
院外処方率		0%
医業収入(平成16年度1年間)		約 11.6 億円

職員	医師	6～10 人
	歯科医師	0 人
	薬剤師	3 人
	看護職員	41～45 人
	医療技術員	16～20 人
	その他の職員	11～15 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ リスクマネジメント委員長 1 名及びリスクマネジャーを 8 名配し、何れも兼任である。委員長は看護部長が、リスクマネジャーは、各部署の責任者が就いている。
- ・ レジオネラ菌検査、ねずみ消毒を実施している。
- ・ 内部レビューとしては院内感染ラウンドのほか、抗生剤のプリックテストを実施している。
- ・ 内部研修は 14 種類、延 27 回開催している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的 投資	委員会・会合	1,056	3,994	.	3,994
	内部レビュー・ラウンド等	2	7	.	7
	院内研修	550	1,684	-	1,684
	院外研修・活動	92	303	63	366
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	112	112
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	3,789	3,789
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	7,615	7,615
その他	インシデント/アクシデントレポート	1	2	-	2
	院内感染サーベイランス	0	0	57	57
	職業感染防止対策	.	.	74	74
	賠償責任保険	.	.	1,044	1,044
合計		1,701	5,990	12,755	18,745
1 病床当たり費用		.	68	145	213
職員 1 人当たり費用		.	69	147	216
医業収入割合		.	0.5%	1.1%	1.6%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT 機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	10	33	-	.	.
物件費	-	1,292	-	-	300	-
合計	-	1,302	33	-	300	-
医業収入割合	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（有床）A：基本情報（平成16年6月の状況）】

病床	許可病床	11～19床
	療養病床割合	0%
患者	在院患者延べ数	約500人
	初診患者数	約410人
	再診患者延べ数	約6,700人
院外処方率		0%
医業収入(平成16年度1年間)		約7.6億円

職員	医師	3人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	16～20人
	その他の職員	11～15人
主たる診療科目		脳神経外科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 医療安全、感染制御の委員会を設けている。また、全員参加の朝礼を週1回実施している。
- ・ 責任感を持ち、自主的に行動するように職員全員が何らかの現場責任者になっている。
- ・ 手術用のモニターの導入も行っている。
- ・ 点滴、投薬の際の確認作業、手術劇薬・毒薬・麻酔薬の管理作業を定常的に実施している。
- ・ マニュアル等に定められている確認作業の種類は増えている。同意書は2種類ある。
- ・ 通所リハビリテーションと連絡会議を月2回開催している。
- ・ 臨床研修医の安全管理、感染制御指導に取り組んでいる。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	45	155	.	155
	院外研修・活動	-	-	-	-
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	1,214	1,214
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,649	1,649
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	1,200	-	1,200
	廃棄物処理・保管	.	.	73	73
その他	インシデント/アクシデントレポート	14	49	122	170
	職業感染防止対策	.	.	25	25
	賠償責任保険	.	.	23	23
合計		59	1,404	3,106	4,510
職員1人当たり費用		.	29	65	94
医業収入割合		.	0.2%	0.4%	0.6%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	100	-	-	-
合計	-	-	100	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（有床）B：基本情報（平成16年6月の状況）】

病床	許可病床	11～19床	職員	医師	2人
	療養病床割合	63%		歯科医師	0人
患者	在院患者延べ数	約560人	員	薬剤師	0人
	初診患者数	約400人		看護職員	11～15人
	再診患者延べ数	約4,900人		その他の職員	16～20人
院外処方率		0%	主たる診療科目		循環器科、外科
医業収入(平成16年度1年間)		約3.5億円			

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・安全管理の責任者として事務長、安全推進担当者として看護師が任命されている。
- ・内部での委員会、打ち合わせ等だけではなく、外部の研修会にも積極的に参加している。
- ・インシデントレポートの作成には1999年から取り組んでいる。
- ・患者の誤認防止はダブルチェックしている。また、入浴前後の状態確認を実施している。
- ・マニュアルに定められた確認作業は15種類ある。また、同意書は3種類ある。
- ・病院、他の診療所、薬局、訪問看護ステーションと情報提供の形で機能連携している。
- ・担当者を配置しての患者相談窓口を設置している。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	342	1,096	.	1,096
	院外研修・活動	186	659	176	835
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	192	192
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	384	384
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	27	27
	廃棄物処理・保管	.	.	293	293
その他	インシデント/アクシデントレポート	6	19	-	19
	職業感染防止対策	.	.	178	178
	賠償責任保険	.	.	42	42
合計		534	1,773	1,292	3,066
職員1人当たり費用		.	57	41	98
医業収入割合		.	0.5%	0.4%	0.9%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	88	21	.	.
物件費	-	-	120	22	-	-
合計	-	-	208	43	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（有床）C：基本情報（平成16年6月の状況）】

病床	許可病床	11～19床
	療養病床割合	24%
患者	在院患者延べ数	約450人
	初診患者数	約240人
	再診患者延べ数	約3,000人
院外処方率		0%
医業収入(平成16年度1年間)		約2.1億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	11～15人
	その他の職員	6～10人
主たる診療科目		整形外科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 整形外科が主たる診療科であるが、それ以外にリウマチ科、リハビリテーション科も標榜。
- ・ インシデント・アクシデントレポートについては月1回定期的にその内容について話し合う時間を設けている。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	384	1,284	・	1,284
	院外研修・活動	-	-	-	-
設備	安全管理に係る機器・設備等	・	・	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	・	・	134	134
	医療機器等の管理等	・	-	-	-
	医薬品等の管理等	・	-	-	-
	廃棄物処理・保管	・	・	483	483
その他	インシデント/アクシデントレポート	17	58	-	58
	職業感染防止対策	・	・	11	11
	賠償責任保険	・	・	135	135
合計		401	1,342	763	2,105
職員1人当たり費用		・	67	38	105
医業収入割合		・	0.7%	0.4%	1.0%

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	・	・
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（有床）D：基本情報（平成16年6月の状況）】

病床	許可病床	11～19床	職	医師	1人
	療養病床割合	95%		歯科医師	1人
患者	在院患者延べ数	約570人	員	薬剤師	0人
	初診患者数	約30人		看護職員	6～10人
	再診患者延べ数	約1,200人		その他の職員	6～10人
院外処方率		0%	主たる診療科目		内科
医業収入（平成16年度1年間）		約2.1億円			

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・主たる診療科は内科、その他消化器科、循環器科も標榜している。
- ・施設管理者である医師が医療安全管理責任者、看護師1名が安全管理代表責任者となり、それ以外に看護師1名、技能労務員2名が安全管理担当者となっている。
- ・インシデントレポートの作成には1990年代から取り組んでいる。
- ・院内感染防止マニュアル、医療事故防止マニュアルを作成、整備している。
- ・患者誤認防止、処方箋内容の確認を行っている。
- ・血液製剤投与、造影剤使用にあたっては、慎重に説明を行っている。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	58	196	.	196
	院外研修・活動	18	65	12	77
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	36	36
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	679	679
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	238	238
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	34	34
	賠償責任保険	.	.	-	-
合計		76	260	999	1,260
職員1人当たり費用		.	14	56	70
医業収入割合		.	0.1%	0.5%	0.6%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	1	-	.	.
物件費	-	-	2	-	-	-
合計	-	-	3	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）A：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 200人
	再診患者延べ数	約 800人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.0億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	5人
主たる診療科目		神経内科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 医師1名、主たる診療科目である神経内科以外に、内科、小児科、耳鼻咽喉科も標榜。
- ・ 医療安全のために、内部レビュー・ラウンドに取り組んでいる。
- ・ 1990年の開設時より、手洗い機器やオートクレーブを導入するなど、早い時期から医療安全に対する取り組みがみられる。
- ・ 病院、介護事業者と情報提供の形で機能連携している。連携件数は、両者ともに月間1～2件である。
- ・ 防犯システムを10年以上前に導入した。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	6	24	.	24
	院外研修・活動	-	-	-	-
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	132	132
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	9	9
	廃棄物処理・保管	.	.	59	59
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	6	6
	職業感染防止対策	.	.	10	10
	賠償責任保険	.	.	92	92
合計		6	24	308	332
職員1人当たり費用		.	3	34	37
医業収入割合		.	0.0%	0.3%	0.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）B：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 300人
	再診患者延べ数	約 2000人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.1億円

職員	医師	2人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	1人
	その他の職員	4人
主たる診療科目		呼吸器科、循環器科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 内視鏡を扱うために、その洗浄装置を導入している。
- ・ 院外処方のため薬剤の取り扱いには肝炎患者用の注射が主なものになっている。
- ・ 肝炎患者がいるため、抗体検査を実施している。
- ・ 医事紛争のための外部委員会に参加し、対策検討に取り組んでいる。
- ・ 内視鏡、神経ブロック使用時に特に説明に注意している。
- ・ 病院、薬局、介護事業者と情報提供の形で機能連携している。連携件数は、病院が月間 20 件、薬局が月間 100 件、介護事業者が月間 2～3 件である。
- ・ 受付で患者への投薬内容について過去の薬歴とのチェックを行っている。受付スタッフの交代はほとんどないため、患者の把握ができる。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	-	-	-	-
	院外研修・活動	114	692	-	692
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,005	1,005
	医療機器等の管理等	.	-	480	480
	医薬品等の管理等	.	-	18	18
	廃棄物処理・保管	.	.	264	264
その他	インシデント／アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	21	21
	賠償責任保険	.	.	140	140
合計		114	692	1,928	2,621
職員1人当たり費用		.	99	275	374
医業収入割合		.	0.6%	1.8%	2.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）C：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 240人
	再診患者延べ数	約 1,400人
	院外処方率	99%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.5億円

職員	医師	2人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	3人
主たる診療科目		内科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・一部院外処方もあるが、大半が院内処方。
- ・インシデント・アクシデントレポートの作成はなかったものの、ヒヤリハット事例に関するミーティングが開催されている。
- ・感染制御のために隔離室を設けている。
- ・患者の自己決定への説明は月40人程度に対して行っている。
- ・病院への紹介が月間70件程度、病院からの逆紹介が月間10件程度、訪問看護ステーションとの連携も月間5～10件程度ある。
- ・施設長が地域ケア会議の議長を努め、3ヶ月に1回会合を開催している。
- ・地域情報網を利用した安全情報の収集を行っている。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	12	48	.	48
	院外研修・活動	1	7	1	8
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	11	11
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	387	387
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	14	14
	廃棄物処理・保管	.	.	500	500
その他	インシデント／アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	24	24
	賠償責任保険	.	.	150	150
合計		13	55	1,087	1,141
職員1人当たり費用		.	7	136	143
医業収入割合		.	0.0%	0.7%	0.8%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）D：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 230人
	再診患者延べ数	約 900人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 0.9億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	3人
主たる診療科目		小児科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 施設管理者である医師が医療安全管理責任者、看護師1名が医療安全対策担当者となっている。
- ・ 医療安全に関するマニュアル、感染予防マニュアル、医薬品取り扱い規約を医師と事務職員で作成している。
- ・ ワクチン等在庫保管や管理、要指導薬の在庫保管や管理をそれぞれ毎週、2週間に1度程度実施している。
- ・ 患者誤認防止、医薬品等の誤認防止、処方箋内容の確認を行っている。
- ・ マニュアルに基づき、医療者間及び医療者・患者間の確認作業を行っている。
- ・ 保険薬局との間で診療情報提供のため月間50件程度連携をはかっている。
- ・ 患者相談窓口をホームページ上に開設している。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	33	122	.	122
	院外研修・活動	20	121	63	184
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	294	294
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	28	52	80
	廃棄物処理・保管	.	.	226	226
その他	インシデント/アクシデントレポート	3	13	-	13
	職業感染防止対策	.	.	195	195
	賠償責任保険	.	.	80	80
合計		56	284	910	1,195
職員1人当たり費用		.	36	114	149
医業収入割合		.	0.3%	1.1%	1.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	164	38	.	.
物件費	-	-	34	13	260	27
合計	-	-	198	51	260	27
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.3%	0.0%

【一般診療所（無床）E：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 200人
	再診患者延べ数	約 2200人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.5億円

職員	医師	1.8人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	6~10人
	その他の職員	5人
主たる診療科目		内科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 同一法人内で老人保健施設、デイケアも運営。デイケアは同一建物内にある。
- ・ 医療安全のために、医師だけではなく看護師長も関わっているほか、品質・リスク管理マネージャーを配置している。内部レビューのための監査員も別途任命している。
- ・ 2002年にISO9001を取得した。その後毎年維持審査を受審している。その過程で各種マニュアルをすべて整備して、保管場所、更新状況等も一括管理するようになった。新規受審の際には外部のコンサルタントを招き、コンサルを依頼した。
- ・ 医師間また医師と看護師の間の連絡のために、カルテに記載する内容が標準化された。標準化されたことにより、医師間で診療内容の確認が行えるようになった。
- ・ 内視鏡の使用にあたっては、説明を慎重に行い、同意書をとっている。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	3	9	.	9
	院外研修・活動	32	74	0	74
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,273	1,273
	医療機器等の管理等	.	-	166	166
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	336	336
その他	インシデント/アクシデントレポート	4	12	-	12
	職業感染防止対策	.	.	48	48
	賠償責任保険	.	.	74	74
合計		39	95	1,896	1,991
職員1人当たり費用		.	7	147	154
医業収入割合		.	0.1%	1.2%	1.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	102	2	60	-	.	.
物件費	6,943	428	20	-	-	-
合計	7,045	430	80	-	-	-
医業収入割合	4.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）F：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約60人
	再診患者延べ数	約700人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約1.0億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	2人
主たる診療科目		小児科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・主たる診療科は小児科。アレルギー科も標榜している。
- ・施設の管理者が医療安全の管理者となっている。
- ・医療安全を重視していることをホームページ上で掲載している。
- ・患者同士での感染を防ぐため、隔離待合室を設けている。また健診や予防接種に来た人のためには入り口を別にした部屋を設けている。
- ・医の倫理・医療安全講習会や医療事故防止講習会に参加している。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	83	273	.	273
	院外研修・活動	6	40	13	53
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	86	86
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	155	155
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	72	72
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	11	11
	賠償責任保険	.	.	188	188
合計		89	313	524	838
職員1人当たり費用		.	45	75	120
医業収入割合		.	0.3%	0.5%	0.8%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所A： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 250人
	再診患者延べ数	約 8,200人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 10.2億円

職員	歯科医師	16～20 人
	歯科衛生士	36～40 人
	歯科技工士	6～10 人
	事務職員	11～15 人
	その他の職員	5 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 比較的大規模の歯科診療所であり、歯科技工室がある。技工物は一部外注。
- ・ 安全管理責任者、安全管理推進者、安全管理担当者を任命している。
- ・ 安全管理部門定例会議として理事会、運営会議、主任会議が定例的に開かれているほか、医薬品及び感染制御に関する診療所会議が月 1 回の頻度で開催されている。
- ・ インシデント及びアクシデントレポートの分析・改善策立案等の活動を月 1 回程度行っている。
- ・ 診療マニュアル、診療介助マニュアル、及び感染・消毒マニュアルを作成している。
- ・ 心電計、患者監視装置、患者監視モニター、監視除細動装置を導入している。
- ・ 高圧蒸気滅菌機、ホルマリンガス殺菌器を導入している。
- ・ 消毒キャビネット、手洗いキャビネットを複数設置している。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口を設置している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	2,422	11,362	.	11,362
	院外研修・活動	24	75	300	375
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	1,618	1,618
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	5,333	5,333
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	50	95	145
	廃棄物処理・保管	.	.	1,092	1,092
その他	インシデント/アクシデントレポート	139	632	-	632
	職業感染防止対策	.	.	163	163
	賠償責任保険	.	.	368	368
合計		2,585	12,118	8,968	21,086
職員 1 人当たり費用		.	153	114	267
医業収入割合		.	1.2%	0.9%	2.1%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	1,765	-	.	.
物件費	-	-	-	-	160	-
合計	-	-	1,765	-	160	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 B： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 3300人
	再診患者延べ数	約 21700人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 2.1億円

職員	歯科医師	6～10人
	歯科衛生士	2人
	歯科技工士	3人
	事務職員	3人
	その他の職員	6～10人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 安全管理委員会、感染防止対策委員会、医療事故調査委員会を開催し、ほかに QMS 講習、全職員によるスタッフミーティングを月 1 回の頻度で実施している。
- ・ 歯科医師を中心に、院外の麻酔科研修会及び院内感染研修会に参加している。
- ・ スタッフマニュアル、品質マニュアル、教育訓練記録を作成している。
- ・ ユニットの定期点検、X 線量測定を定期的に外注で実施。医薬品の管理・保守に関する勉強会を年 2 回開催している。ホルマリンガス殺菌器を導入している。
- ・ ISO9001 を 2005 年度に受審しており、2006 年度に更新受審している。
- ・ 一般診療所、病院、介護事業者と情報提供の形で機能連携している。連携件数は、一般診療所が月間 5 件、病院が月間 3 件、介護事業者が月間 10 件である。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口を設置し、担当歯科医師が苦情担当係として対応している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	468	1,622	.	1,622
	院外研修・活動	46	212	40	252
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	937	937
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,043	1,043
	医療機器等の管理等	.	150	-	150
	医薬品等の管理等	.	132	-	132
	廃棄物処理・保管	.	.	164	164
その他	インシデント／アクシデントレポート	47	214	-	214
	職業感染防止対策	.	.	30	30
	賠償責任保険	.	.	10	10
合計		561	2,330	2,223	4,553
職員 1 人当たり費用		.	117	111	228
医業収入割合		.	1.1%	1.1%	2.2%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT 機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	287	126	533	192	.	.
物件費	3,500	350	50	50	150	-
合計	3,787	476	583	242	150	-
医業収入割合	1.8%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%

【 歯科診療所 C： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 10人
	再診患者延べ数	約 20人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 0.3億円

職員	歯科医師	1人
	歯科衛生士	1人
	歯科技工士	1人
	事務職員	1人
	その他の職員	0人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 安全管理の責任者は施設の管理者が兼務。
- ・ 医療安全に関する会合を開くと共に、感染対策マニュアル研修を院内で実施している。
- ・ 歯科医師が、感染症講演会や HIV 歯科診療に関する研究会・協議会に参加している。
- ・ インシデントレポート及びアクシデントレポートの作成には 1998 年度から取り組んでいるが、2004 年度は発生していない。
- ・ 感染対策マニュアル、針刺事故対策マニュアルを作成している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	120	394	.	394
	院外研修・活動	10	61	28	89
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	170	170
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	939	939
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	27	27
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	12	12
	賠償責任保険	.	.	15	15
合計		130	455	1,191	1,646
職員1人当たり費用		.	114	298	411
医業収入割合		.	1.4%	3.7%	5.1%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	46	23	.	.
物件費	-	-	15	3	-	-
合計	-	-	61	26	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 D： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 70人
	再診患者延べ数	約 820人
	院外処方率	4%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 0.9億円

職員	歯科医師	2人
	歯科衛生士	1人
	歯科技工士	1人
	事務職員	1人
	その他の職員	1人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 感染防止対策委員会、医療事故調査委員会を開催し、ほかにインプラント事故検証会（年 2 回）、スタッフミーティング（月 1 回）を開催している。
- ・ 超音波洗浄器を 5 台使用している。乾熱滅菌器のほか、アルコール滅菌器、ホルマリンガス殺菌器を導入している。また、月 2 回業者委託で院内清掃・消毒を行っている。
- ・ 器械・器具を年 2 回総点検するほか、滅菌器の作動確認（出張点検）、回転切削器具の整備・外部修理、バー類のチェックと交換、治療用ミラーの全交換などがなされている。
- ・ 医療者間の確認作業として、外科手術依頼の際にカルテ、レントゲンで二重に確認している。
- ・ 患者への説明として、デジタルレントゲンコピー、口腔カメラを使用した患者の自己決定のための説明を行うと共に、検査結果記入文書を活用した注意事項の説明を行っている。
- ・ 機能連携として、医科主治医との意見交換が月 3 件ある。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	92	348	.	348
	院外研修・活動	8	35	1	36
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	348	348
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	3,877	3,877
	医療機器等の管理等	.	600	465	1,065
	医薬品等の管理等	.	-	27	27
	廃棄物処理・保管	.	.	45	45
その他	インシデント／アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	24	24
	賠償責任保険	.	.	78	78
合計		100	982	4,866	5,848
職員 1 人当たり費用		.	164	811	975
医業収入割合		.	1.1%	5.7%	6.8%

注) “.” 該当データがないありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	29	12	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	29	12	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 E： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 50人
	再診患者延べ数	約 300人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 0.5億円

職員	歯科医師	1人
	歯科衛生士	1人
	歯科技工士	0人
	事務職員	1人
	その他の職員	3人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 感染症対策講習会、HIV 歯科診療に関する研究会に参加している。
- ・ 消毒マニュアル、スタッフ教育マニュアルを作成し、それぞれ適宜更新している。
- ・ 高圧蒸気滅菌器及び超音波洗浄器を導入。また、ユニットの保守点検を年 2 回行っている。
- ・ 医療者間の確認を確実にするため、週 1 回全職員参加のスタッフミーティングを開催している。
- ・ マニュアルに定められている医療者間の確認作業は 2 種類で、1 日 5 件程度。
- ・ 患者の自己決定のための説明は 1 日平均 2 件、1 件の説明に平均して 20 分程度かけている。
- ・ 診療行為前後の注意事項の説明は年間で約 200 件、1 件当たり 15 分程度かかっている。
- ・ 機能連携として、薬局との処方内容についての確認などを行っている。
- ・ 患者 1 人ごとに器材へのバリアフィルムの貼付やヘッドカバー交換を含む前準備を行っており、歯科助手が 5 分かかっている。また、滅菌消毒に 1 日当たり 2 時間程度かかっている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名	年間費用			
	人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	90	316	316
	院外研修・活動	28	138	43
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	70
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	2,198
	医療機器等の管理等	.	100	-
	医薬品等の管理等	.	2	14
	廃棄物処理・保管	.	.	120
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	11
	賠償責任保険	.	.	8
合計		118	555	2,464
職員 1 人当たり費用		.	93	411
医業収入割合		.	1.2%	5.2%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	25	12	.	.
物件費	-	-	9	9	-	-
合計	-	-	34	21	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 F： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 640人
	再診患者延べ数	約 5100人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 5.8 億円

職員	歯科医師	11～15 人
	歯科衛生士	26～30 人
	歯科技工士	0 人
	事務職員	6～10 人
	その他の職員	6～10 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 有床歯科診療所であり、安全管理委員会、感染防止対策委員会などを開催している。
- ・ インシデント及びアクシデントレポートの分析・改善策立案等の活動を月 1 回程度行っている。
- ・ 医療事故防止マニュアル、誤飲対策マニュアル、緊急コールマニュアル、リスクマネジメントマニュアルなど 9 種類のマニュアルを作成している。
- ・ ガス滅菌器、バイオリザ殺菌装置を使用し、オートクレーブを 3 台保有。
- ・ ユニットの保守点検を毎週 1 回外部委託で行う。X 線量測定外部委託で年間 2 回検査している。
- ・ 医薬品調剤、手術部位等処置部位などは、複数でチェックしている。
- ・ マニュアルに定められている医療者間の確認作業は 10 種類ある。
- ・ 薬局への処方内容確認、介護保険事業者や病院・診療所との連携を行っている。
- ・ 水質検査（月 1 回）、細菌定点検査（年 4 回）、設備ガス量点検（毎日）を行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	452	1,734	.	1,734
	院外研修・活動	308	1,162	531	1,693
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	2,040	2,040
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	2,507	2,507
	医療機器等の管理等	.	600	100	700
	医薬品等の管理等	.	260	97	357
	廃棄物処理・保管	.	.	648	648
その他	インシデント/アクシデントレポート	100	451	-	451
	職業感染防止対策	.	.	757	757
	賠償責任保険	.	.	22	22
合計		860	4,207	6,702	10,910
職員 1 人当たり費用		.	74	118	191
医業収入割合		.	0.7%	1.2%	1.9%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT 機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	336	159	.	.
物件費	-	-	270	85	50	-
合計	-	-	606	244	50	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 G： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 50人
	再診患者延べ数	約 3,000人
院外処方率		0%
医業収入(平成16年度1年間)		約 1.1億円

職員	歯科医師	3人
	歯科衛生士	3人
	歯科技工士	0人
	事務職員	1人
	その他の職員	4人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 医療安全管理責任者、医療安全対策委員を任命している。
- ・ 感染予防・医療事故防止のための会合を開催している。
- ・ 院外研修として、学会のほか、歯科医師会講習会（年 5 回）に参加している。
- ・ 殺菌浄水器、滅菌灯、滅菌パックを使用している。
- ・ ユニットの保守点検を年 4 回実施。年に 1 回、棚卸しをして医薬品を整理している。
- ・ 医療者間の確認作業を 8 種類、医療者・患者間の確認作業を 2 種類、マニュアルで定めている。
- ・ 患者の自己決定のための説明は 1 日平均 20 件、1 件の説明に平均して 20 分程度かけている。
- ・ 診療行為前後の注意事項の説明は 1 日平均 50 件、1 件の説明に平均して 20 分程度かけている。
- ・ 月間 5 件くらい紹介状の作成が発生し、逆紹介も月間 5 件程度ある。
- ・ 患者相談窓口を設置し、患者カウンセリングも行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	18	66	.	66
	院外研修・活動	120	438	160	598
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	776	776
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,353	1,353
	医療機器等の管理等	.	212	-	212
	医薬品等の管理等	.	503	43	546
	廃棄物処理・保管	.	.	72	72
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	208	208
	賠償責任保険	.	.	6	6
合計		138	1,219	2,618	3,836
職員1人当たり費用		.	116	249	365
医業収入割合		.	1.1%	2.3%	3.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【 保険薬局A： 基本情報（平成16年6月の状況） 】

処方せん枚数	約 2700 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 1.5億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 外部の研修会に積極的に参加している。
- ・ 調剤鑑査のために・量をチェックするシステムを導入。この使い方については、独自の使用方法マニュアルを用意している。
- ・ 薬品名・量チェックシステム導入後には、調剤鑑査のためのミスが激減した。また受発注も県薬剤師会で作成したネットワークを用いる等、IT化を進めることによって、周辺に医療機関が増え、患者数が増えたにもかかわらず、人員を大幅増強することなく、対応することができた。
- ・ レセプトとの突き合わせの簡素化のために、近隣の医療機関に QR コードを導入してもらった。
- ・ 服薬指導の場でも、窓口にパソコンを1ブースごとに1台ずつ設置し、最新の情報を提供するようにしている。
- ・ 県薬剤師会が共同で開発したインターネット上の受発注システムを利用することにより、在庫管理等が迅速に行うことができる。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間） 】

項目名	年間費用				
	人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]	
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	108	368	・	368
	安全管理に係る研修	78	251	-	251
設備	調剤業務に関する機器・設備等	・	・	24	24
	医薬品等の安全管理	200	655	-	655
	副作用防止に関する機器・設備等	・	・	-	-
	感染制御及び無菌製剤	・	・	14	14
その他	インシデント／アクシデントレポート	2	5	-	5
	職業感染防止対策	・	・	-	-
	賠償責任保険	・	・	16	16
合計		387	1,279	54	1,333
職員1人当たり費用		・	213	9	222
営業収入割合		・	0.9%	0.0%	0.9%

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	・	・
物件費	-	-	-	-	2,800	1,061
合計	-	-	-	-	2,800	1,061
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.7%

【 保険薬局 B： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 1300 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 2.9億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬局の管理者が安全管理の責任者になっている。
- ・ 外部の研修会に積極的に参加している。
- ・ インシデントレポートの作成には 1999 年から取り組んでいる。
- ・ 散在については、鑑査システムを用いて秤量を行い、かつ目視で異物混入をチェックしている。
- ・ 薬歴はシステムを用いて管理している。
- ・ 医療機関への疑義紹介だけではなく、医療機関から投与量の問い合わせ等を受けている。
- ・ 事故防止のために、色つけなどをしての一包化を行っている。また、時間内以外にも休日夜間の時間外の電話受付等を行うために、携帯情報端末を導入している。
- ・ 糖尿病の患者が多いため、低血糖時の糖尿病薬、インスリンの保管・混和方法については特に注意を払って指導している。
- ・ レセコンを導入し、対象患者の抽出を行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名	年間費用				
	人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]	
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	38	118	・	118
	安全管理に係る研修	40	125	206	331
設備	調剤業務に関する機器・設備等	・	・	-	-
	医薬品等の安全管理	34	111	-	111
	副作用防止に関する機器・設備等	・	・	-	-
	感染制御及び無菌製剤	・	・	12	12
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	・	・	-	-
	賠償責任保険	・	・	10	10
合計	112	353	228	581	
職員1人当たり費用	・	71	46	116	
営業収入割合	・	0.1%	0.1%	0.2%	

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	20	20	・	・
物件費	-	-	18	18	8,952	350
合計	-	-	38	38	8,952	350
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.1%

【 保険薬局 C： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 2,200 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 2.9億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 管理薬剤師以外に安全管理推進者の薬剤師が任命されている。
- ・ インシデント・アクシデントレポートは県薬剤師会で作成した書式を用いている。なお、作成結果は、県の薬剤師会インシデント事例報告モデル事業で報告している。
- ・ 鑑査システムで秤取、分包偏差を行っている。水剤の瓶には内容を記載したラベルを用いて、調剤ミスを防ぐようにしている。
- ・ 事故防止に向けた機能連携として医療機関への疑義照会については 1990 年頃から取り組んでおり、一包化、開局時間内における問い合わせ対応にも取り組んでいる。また 2002 年からは休日・夜間における電話転送を行い、患者からの問い合わせに対応している。
- ・ リウマトレックス、ティーエスワン等の抗がん剤に関する服薬指導、インスリン注射の使用方法、使用量に関する指導を行うようにしている。
- ・ 個人情報保護のためにシュレッターを導入している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	92	308	.	308
	安全管理に係る研修	15	55	127	182
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	600	600
	医薬品等の安全管理	25	83	59	142
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	1	1
	感染制御及び無菌製剤	.	.	11	11
その他	インシデント/アクシデントレポート	3	11	-	11
	職業感染防止対策	.	.	12	12
	賠償責任保険	.	.	12	12
合計		135	457	822	1,279
職員1人当たり費用		.	51	91	142
営業収入割合		.	0.3%	0.5%	0.7%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	34	14	.	.
物件費	-	-	2	1	1,000	522
合計	-	-	36	15	1,000	522
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%

【 保険薬局 D： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 2,900 枚	職員	薬剤師	6~10 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1~5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 3.0 億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬品名・量をチェックする鑑査システムを 2005 年に導入。
- ・ 散剤、水剤についても鑑査システムを用いて合計量の確認等を行っている。特に散在については、分包偏差の確認のために一包目、中間、最終量の確認を行っている。
- ・ 小児投与量について、医療機関に照会をしている。逆に医療機関から照会を受けることもある。
- ・ 時間外（休日・夜間）についても電話で患者からの問い合わせに対応している。
- ・ 薬歴の服薬カレンダーをもとに、コンプライアンスや処方間隔のチェックを行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	99	277	.	277
	安全管理に係る研修	32	80	12	92
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	-	-
	医薬品等の安全管理	110	360	5	365
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御及び無菌製剤	.	.	-	-
その他	インシデント/アクシデントレポート	95	319	-	319
	職業感染防止対策	.	.	-	-
	賠償責任保険	.	.	4	4
合計		336	1,037	21	1,058
職員 1 人当たり費用		.	94	2	96
営業収入割合		.	0.3%	0.0%	0.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT 機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	51	24	.	.
物件費	-	-	3	3	4,310	309
合計	-	-	54	27	4,310	309
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.1%

【 保険薬局 E： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 1,600 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 1.1 億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 施設の管理者が安全管理の責任者となっている。
- ・ 医療安全の内容も含めた外部研修に積極的に参加している。
- ・ 2003 年からインシデント・アクシデントレポートの作成、分析に取り組んでいる。
- ・ 処方箋・薬歴に基づき、品目・数量・薬袋のチェックを行っている。また、電子薬歴データベースに基づく相互作用チェック、異物購入の目視確認も行っている。
- ・ 散・水剤については、秤量品の記録、ばらつき確認のために再秤量を行うこともある。
- ・ 県薬剤師会が共同で開発したインターネット上の受発注システムを利用することにより、在庫管理等が迅速に行うことができる。
- ・ 特定の薬剤等については、投薬カレンダーの貸し出しや電子薬歴による服薬状況の確認を行っている。
- ・ 同一法人内で安全管理強化月間が年 2 回開催されている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	72	190	.	190
	安全管理に係る研修	27	93	220	313
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	-	-
	医薬品等の安全管理	126	427	10	437
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御及び無菌製剤	.	.	4	4
その他	インシデント/アクシデントレポート	4	13	-	13
	職業感染防止対策	.	.	20	20
	賠償責任保険	.	.	5	5
合計		229	723	259	982
職員 1 人当たり費用		.	161	58	218
営業収入割合		.	0.7%	0.2%	0.9%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	41	5	.	.
物件費	-	-	21	5	5,170	315
合計	-	-	62	10	5,170	315
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	4.9%	0.3%

【 保険薬局 F： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 4,200 枚	職員	薬剤師	6～10 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 3.6 億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 内部研修としては「業務過誤防止研修会」、外部研修としては「調剤過誤防止研修会（新人研修）」を実施している。
- ・ 鑑査は、過去の薬歴との鑑査、処方内容の鑑査、調剤内容の鑑査を実施している。
- ・ 散水剤調剤については、散剤計算メモの作成、散在鑑査システムからの秤量記録しとの突合、分包誤差、異物混入の確認を行っている。
- ・ 在庫管理ソフト、JAN コードを利用した発注システム、自動入庫システムを導入している。
- ・ 麻薬の管理服薬指導を実施している。
- ・ 在宅自己注射に関しては注射器使用方法指導、用法・用量の指導を行っている。
- ・ 副作用防止のために、光回線インターネットによる情報収集、レセプトコンピューターによる該当患者の検索を行っている。
- ・ クリーンベンチを整備している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名	年間費用			
	人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	32	86	86
	安全管理に係る研修	54	141	411
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	-
	医薬品等の安全管理	248	833	886
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	-
	感染制御及び無菌製剤	.	.	1,959
その他	インシデント/アクシデントレポート	3	12	12
	職業感染防止対策	.	.	13
	賠償責任保険	.	.	20
合計		337	1,071	2,314
職員1人当たり費用		.	86	271
営業収入割合		.	0.3%	0.7%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	66	10	.	.
物件費	-	-	59	37	9,240	2,076
合計	-	-	125	47	9,240	2,076
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.6%

【 保険薬局 G： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 1,900 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	5 日		事務職員	6～10 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 2.8 億円		その他の職員	1～5 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 管理薬剤師が、安全管理責任者に位置づけられている。
- ・ 発生しない日も含め、薬局内で起きたヒヤリ・ハット事例の報告を毎日行っている。
- ・ インシデントレポートの作成は 2003 年から開始し、2004 年のヒヤリハットレポートは 20 件。
- ・ マニュアルは薬局調剤内規の他、インシデントレポートマニュアル、薬品情報カード、PHRM-2E（個別調剤事故分析ツール）作成マニュアルを整理している。
- ・ 散剤の鑑査には散在鑑査システムを導入している。
- ・ 水剤の鑑査には水剤確認調剤スタンプ、混合総量と 1 日服用量確認を行っている。
- ・ 抗がん剤、抗リウマチ薬は、休薬期間の管理を行っている。
- ・ 副作用防止のために、インターネットによる情報収集、レセプトコンピューターによる該当患者の検索を行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	525	1,394	.	1,394
	安全管理に係る研修	26	83	142	225
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	-	-
	医薬品等の安全管理	82	270	16	286
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御及び無菌製剤	.	.	31	31
その他	インシデント/アクシデントレポート	11	38	-	38
	職業感染防止対策	.	.	132	132
	賠償責任保険	.	.	14	14
合計		645	1,786	335	2,121
職員 1 人当たり費用		.	149	28	177
営業収入割合		.	0.6%	0.1%	0.8%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	77	23	.	.
物件費	-	-	14	4	650	811
合計	-	-	91	27	650	811
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%

【 保険薬局 H： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 1,600 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	6 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 0.8 億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ インシデントレポートを作成しており、報告件数は 20 件であった。
- ・ マニュアルは調剤事故防止マニュアル、薬局調剤内規の他、調剤事故発生時対応マニュアル、小児薬用量リストを作成している。
- ・ 調剤事故防止のために、①液剤鑑査システム、②散剤鑑査システム、③電子薬歴システム、④電子自動分割分包機を導入している。
- ・ 散剤・液剤は鑑査システムの記録と処方箋により薬剤と計量値の確認を行い、さらに目視により異物混入検査を行っている。
- ・ 抗がん剤、ステロイド剤、向精神薬などの服用状況を電子薬歴簿で把握している。
- ・ 副作用防止のため、インターネットで情報収集し、該当患者への連絡の確認を行っている。
- ・ 感染性疾患患者のための隔離待合室を設置している
- ・ 調剤室および待合室にクリーンシステムを導入している

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	72	211	.	211
	安全管理に係る研修	32	117	306	423
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	672	672
	医薬品等の安全管理	301	1,020	85	1,105
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御及び無菌製剤	.	.	268	268
その他	インシデント/アクシデントレポート	20	68	-	68
	職業感染防止対策	.	.	12	12
	賠償責任保険	.	.	11	11
合計		425	1,416	1,354	2,770
職員1人当たり費用		.	354	338	693
営業収入割合		.	0.9%	0.8%	1.7%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	102	-	.	.
物件費	-	-	90	-	226	3,204
合計	-	-	192	-	226	3,204
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	2.0%

【 保険薬局 I： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 5700 枚	職員	薬剤師	11～15 人
週平均営業日数	7 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 9.9億円		その他の職員	1～5 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 大病院に隣接する保険薬局。週 7 日営業。
- ・ 同一法人の他店舗共通での内部研修も含めて、多くの研修の機会がある。
- ・ インシデントレポートはデータベース登録されている。
- ・ 医療機関側の要望に応じ、インシデントレポートの内容について報告することもあった。
- ・ 医療安全に係るマニュアルは多種が用意されている。
- ・ 同一法人で独自に開発した総合処方システム、散剤鑑査システム、計数調剤システム等を用いて調剤鑑査を行っている。クリーンベンチは 2 台導入している。
- ・ ドラッグテレフォンを設け、患者からの内容照会に対応する体制を整えている。
- ・ 疼痛治療に使用する麻酔やインスリン自己注射に関しては特に時間をかけて服薬指導を実施している。
- ・ 受付で患者への投薬内容についてのチェックを行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	117	343	・	343
	安全管理に係る研修	165	451	6	457
設備	調剤業務に関する機器・設備等	・	・	－	－
	医薬品等の安全管理	71	242	450	692
	副作用防止に関する機器・設備等	・	・	－	－
	感染制御及び無菌製剤	・	・	558	558
その他	インシデント／アクシデントレポート	70	237	－	237
	職業感染防止対策	・	・	－	－
	賠償責任保険	・	・	4	4
合計		423	1,273	1,018	2,291
職員 1 人当たり費用		・	61	48	109
営業収入割合		・	0.1%	0.1%	0.2%

注) “・” 該当データがない・ありえない、“－” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	－	－	37	－	・	・
物件費	－	－	165	－	10,800	800
合計	－	－	202	－	10,800	800
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.1%

【 保険薬局 J： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

処方せん枚数	約 1100 枚	職員	薬剤師	1～5 人
週平均営業日数	5 日		事務職員	1～5 人
営業収入(平成16年度1年間)	約 0.6億円		その他の職員	0 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬品名・量を電子的に鑑査するシステムの導入により、ミスが減少した。
- ・ 散在用に集塵機能付き調剤台を導入している。
- ・ 近隣の小児科から小児投与量についての問い合わせが非常に多く（月 800 件程度）、医療機関への問い合わせの件数（月 60 件程度）を大きく上回っている。
- ・ 向精神薬、入眠剤、リウマトレックス等について、電子薬歴の服薬カレンダーでコンプライアンス、処方間隔のチェックを行っている。
- ・ 県薬剤師会が共同で開発したインターネット上の受発注システムを利用することにより、在庫管理等が迅速に行うことができる。
- ・ 小児科が隣接しているため、隠圧の隔離待合室を設けている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・打ち合わせ等	40	106	.	106
	安全管理に係る研修	40	125	208	333
設備	調剤業務に関する機器・設備等	.	.	-	-
	医薬品等の安全管理	19	64	28	92
	副作用防止に関する機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御及び無菌製剤	.	.	3	3
その他	インシデント/アクシデントレポート	2	7	-	7
	職業感染防止対策	.	.	30	30
	賠償責任保険	.	.	7	7
合計		101	301	276	577
職員1人当たり費用		.	75	69	144
営業収入割合		.	0.5%	0.4%	0.9%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	1	-	.	.
その他	-	-	14	1	640	79
合計	-	-	15	1	640	79
営業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.1%